

公民館報 新習志野

公民館報 / 新習志野
 編集 / 館報編集委員会
 発行 / 新習志野公民館
 指定管理者 株式会社オーエンス
 習志野市秋津3-6-3 TEL453-3400
<http://sinnara-kominkan.net/>

待ちに待った開館

新型コロナウィルスの恐ろしいところは、皆と集まり顔を合わせ交流することができないことです。

閉館中の公民館、人の声が聞こえないさみしい空間。悪い夢を見ているような3ヶ月余りの日々でした。終息にはまだ時間がかかると思いますが、一日も早く日常が戻ることを心から願っています。



出口の見えない状況の中、バス研修・ふれ愛まつりと次々に大きな事業を中止し新年度のスタート。

総会の紙面決議に始まり誰もが初めて経験するコロナ禍の一年が、一日も早く活動を取り戻し活動が再開できることを期待しています。

目に見えない新型コロナウィルス。「不要不急」を避けることは、重要な対策となり公民館も例外ではありませんでした。公民館事業の中止やサークル活動の自粛で大変寂しい状況が続いていました。

サークル活動で来館した方が「公民館で皆さんとの会話が途絶えたのが一番辛い」とおっしゃっていました。直接人と会って話すことの重要性を痛感しました。「新しい生活様式」を取り入れながら、早い終息と明るく希望の持てる公民館活動ができますように願っています。

いろいろな事を考えさせられた期間でした。会話をしない一日のなんと長いことか…
皆さまあっての私たちです。皆さまの笑顔を早く見られることを願っています。



2月に臨時休館になったときには、まさかこんなに長く休館することになるとは思いもよませんでした。

6月に入り、皆様の「久しづれ~」の笑い声を聞き、明るい気持ちになってきました。

3ヶ月ぶりの業務、頭と体が元に戻るにはまだ時間がかかりそうです。



閉館している間、しんと静まり返り、それはそれはさみしい公民館でした。

少しずつサークル活動が始まり笑い声が聞こえてくるようになりました。早く元通りの活動ができるようになるといいですね。マスクを外して思いっきりお話ししたいです。



新習志野公民館 事務職員一同

新型コロナウィルスが、世界中の生活様式を大きく変えました。世界の至る所で、マスク必着・3密回避・行動自粛が声高に提唱され、テレビや新聞等の報道で取り上げない日はありませんでした。そうした波が、新習志野公民館にも押し寄せ、2月29日から6月14日まで臨時休館する事態となりました。普段は、廊下を通ると聞こえてきた賑やかなお囃子や民謡、楽しい音楽が、休館中は一切聞こえず、しんと静まり返っていました。ましてや、受付前のラウンジや廊下に人の姿が見えない、これほどひっそりして寂しい公民館は経験したことありませんでした。こうした思いは、他の職員も一緒です。その思いを上のような短文に各々まとめました。

そして、6月16日以降、利用制限はあるものの、ようやく公民館利用が再開されました。公民館にも活気が戻り、息を吹き返したようです。今後は、コロナと共に存しながら、新しい公民館運営を考えていきたいと思います。

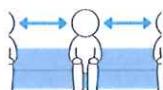


新習志野公民館長 平山 宣尚



サークル活動が再開し仲間に会えて嬉しい。

来年の文化祭に向けて絵を描いています。



なかなか一人ではトレーニングはできないと思いました。

サークル活動がどれほど楽しみだったか、心身共に元気の源だったかを実感しました。

普段は和室Aを借りていたが、ソーシャルディスタンスを考え和室Bも借りている。

ステイホームや散歩などをして過ごしていました。

自宅待機中に、家のことをいろいろできてよかったです。あまりにも時間が長かったので退屈でした。

うつらない、うつさないということを念頭に置き、自分にできることをしていくしかない。



4ヶ月振りに開館した新習志野公民館。

開館はしたものの、マスクの着用、換気、人数制限、ソーシャルディスタンスを保つ、検温、手の消毒等今までに経験したことがない利用条件があり、ご不便をおかけしています。そんな中、久々に活動しているサークルの皆さんにお話を伺いました。

文化祭が中止になってさみしい。

好きな絵を描けて楽しい。



公民館に来ることがストレス発散。

マスクをしての体操は少しきつかったです。

行くところがなくて家でゴロゴロ。公民館のありがたみを知りました。

4ヶ月ぶりに活動できて楽しかった。

体力をつけて免疫力を上げてウィルスに負けない体を作っていました。

少し運動不足を解消できた。

公民館に行けなくなって、初めて自分にとって公民館が大切な場所だったんだと気づいた。



～頼もししい孫～

関吉 京子

～埼玉県秩父市～

下道 邦子



「老い」「老化」なんと嫌な言葉でしょう。昨年、朝起きたら左腕が上がらなくなりました。「にっちはさっちもどうにもブルドッグ♪」なんてひと昔もふた昔も前の歌をうたいながら整形外科へ。『五十肩ですね。老化ですよ』とお医者様の言葉に、ガッカリした私です。五十肩になって困ったことは満員電車と洗髪です。

こんな私に救世主が現れました。当時、小学3年生の孫です。「俺が洗ってあげるよ」頼もしくも生意気な言葉に、最近まで反対だったのになあと思いつつ「ありがとう、お願ひね」と一緒にお風呂に入つてもらいました。髪の毛ならず、身体まで洗つてもらい、仕上げにドライヤーまでのフルコース。部屋に戻つた私に「横になって」と言い「？」の私にマッサージのサービスです。押したり、ひっぱったり、叩いたりとハードなひとつときです。

私の老後は安泰だわと思いつつ、まだまだ孫の成長をゆっくり楽しみたいと思う今日この頃です。



2/29～5/31 の臨時休館中、公民館では皆さんをいつお迎えしてもいいように準備をしていました。



各部屋の人数制限があり、出せるイスの数も制限があります



まずはロビーで手の消毒をして来館名簿に記入



消毒グッズを用意



ソーシャルディスタンスを考えて



お知らせコーナー

～From 公民館～



令和2年度前期公民館講座は、新型コロナウィルス感染拡大防止のため、やむなく中止いたしました。

10月からの後期講座を職員一丸となって企画しています。

講座名
◇子ども講座 10/17(土)
◇ザ チャレンジ
◇育児講座(6ヶ月～12ヶ月の乳児を持つ親) 10/14(水)～ 全3回予定
◇幼児家庭学級(3歳児を持つ親) 11/10(火)～ 全6回予定
◇ユースリーダー養成講座 12/12(土)～ 全6回予定
◇新習クッキング「たもいやんせ」 11/20(金)～ 全3回予定
◇生活悠々講座 11/26(木)～ 全6回予定
◇歴史学びウォーク 11/10(火)～ 全3回予定
◇子育てリフレッシュ講座 11/25(水)～ 全5回予定
◇寿学級 10/7(水)～ 全10回予定
◇いきいき講座 10/29(木)～ 全4回予定

☆新型コロナウィルス感染拡大を防ぐために、事業の中止、内容の変更をする場合があります。最新の情報をホームページ、広報習志野、チラシ、電話等でご確認ください。

HP <http://sinnara-kominkan.net/>
TEL 047-453-3400

編集委員
が行く

To 香澄公園



紫陽花と菖蒲が見頃の香澄公園で子育て中の野鳥が話題になっていました。

ツミという猛禽類の一種で、漢字表記は「雀鷹」。日本最小のタカと言われています。小さくても形はタカそのもので、精悍なくちばしがハンターの風格を表しています。近年、関東近郊の都市部で繁殖していると話題の鳥で、園内でも人通りの多い場所にある大きな楠の木に巣を作り、子育てをしている姿が見られます。

編集委員が訪れた雨上がりの朝も、カメラを構えてシャッターチャンスを狙う愛鳥家の方々がおられ、声を掛けると快くカメラの液晶画面を見せてくださいました。そこには都会の公園で撮ったとは思えない迫力のあるツミの姿が収められていました。

安全な営巣地として、ツミたちがまたこの公園に戻ってきてくれることを願い、身近な場所で生きる野生動物をそっと見守り続けていきたいと思いました。私たちの暮らしのすぐそばに豊かな自然の営みが溢れいることを発見した香澄公園でした。



水辺のツミ

編集委員のつぶやき

できなかったことができるようになることもあるれば、できたことができなくなることもある。人生はこの積み重ね。できないこと、できなくなってきたことを考えると口がへの字になってくるけれど、できること、できるようになったことを考えると自然と口角が上がってくる。何はさておき、口角を上げてみるのもいいかもしれない。幸い、マスクの中は誰にも見られないのだから、とびきりの笑顔で外を歩いてみるのもいいかもしれない。